

第3回

令和6年6月11日（火）10時～12時

教材番号 22 よりそってみて・・・

～子育て環境の変化を知る～ （アレンジ版）

主催団体など	廿日市市子育て応援室
開催場所	山崎本社 みんなのあいプラザ
対象者	母子保健推進員（ママフレンド）
参加者数	19人（ママフレンド）
ファシリテーター	メイン：光井 祐子さん サブ：神原 彩乃さん、倉田 忍さん、西田 弘展さん、藤嶋 教子さん

● 講座の目的

ママフレンドとして、身近な地域の相談者として活動してもらうため、個人的な体験だけに基づく関わりだけでなく、母親の声をしっかりと聴く（傾聴）姿勢を高める。

● 講座の様子

1. オリエンテーション

あいさつ、ねらい、親プロの説明、ファシリテーターの紹介。



2. アイスブレイク（トークフォークダンス）

向かい合って二重の円に座り、フォークダンスのように相手を変えながら、お題に沿って1分間ずつ自己紹介をする。

1つのお題の中で、1人は話すこと、もう1人は聞くことに徹した。どのお題も、時間が足りないほど話しが弾んだ。



3. 3つの約束プラス1を確認し、プログラムに沿って進行

まず、エピソードをサブファシリテーターが音読する。



続いて、自分が子育て中に大変だったこと、今の子育てで大変だと思うことを付箋を使って話合った。

次の問いでは、保護者が安心して子育てをするために、どんな地域の大人だったら良いと思うかをグループ内で話し合い、続いて全体発表をした。

4. 最後に、参加者1人ずつ「今日の気づき」を発表



● 参加者の感想（一部抜粋）

- ・話をすることで、皆同じような考えが多いと感じ安心した。話ができて嬉しかった。
- ・今の子育て環境はコミュニケーションの場が少ないと皆思っていると感じた。
- ・若い人の話が聞け、今の子育ての状況や気持ちを知ることができた。
- ・笑顔、思いやり、温かさ、傾聴、声かけ、目配り、気配り！

● ファシリテーターの感想（一部抜粋）

- ・研修やワークに慣れていない方も、アイスブレイクで打ち解けて、話し合いを進めるきっかけづくりができた。
- ・年代の違う人が交流できて良かったと思う。